

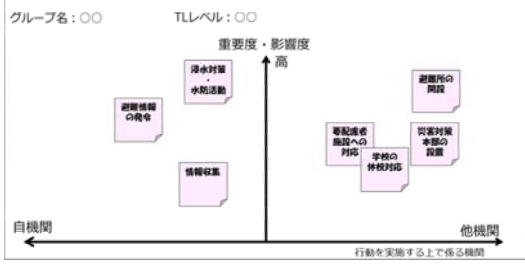




◆ 令和元年度 千代川タイムライン (TL) 検討会の概要

		開催日	概要	成果	
1	研修会	令和元年 7/31 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 水防災基礎学習…千代川概要説明 (主な洪水被害、整備状況、洪水浸水想定区域図、平成30年7月豪雨の概要) ◆ タイムライン作成に向けて (先行事例の紹介、千代川TLのポイント、TL作成手順) ◆ グループワーキング【目的】 TL作成に当たって自機関の行動項目や課題を理解・共有 <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 本研修での気づき (自機関の水害発生時の主な行動項目と懸念事項) を発表 グループ内で取組課題をまとめ グループで取組課題を発表→全体で共有  	<p>◆ 研修会グループワーキング成果 (グループごと)</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>① 防災情報</p> <p>② 自機関に係る水害リスク</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>③ タイムラインに期待すること</p> <p>④ 水害時の防災行動に対する懸念事項</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>⑤ 大規模避難・救助</p> <p>⑥ 自機関に係る水害リスク</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>⑦ タイムラインに期待すること</p> <p>⑧ 水害時の防災行動に対する懸念事項</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>⑨ 社会基盤</p> <p>⑩ 自機関に係る水害リスク</p> </div> </div>	
2	発足式	令和元年 8/7 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 首長挨拶 (鳥取市長、倉吉市長、三朝町長、湯梨浜町長、北栄町長) ◆ 千代川水害タイムライン検討会・天神川水害タイムライン検討会設置要綱 (案) について ◆ 検討会座長講演 ◆ 千代川・天神川の概要について 		
3	第1回 検討会	令和元年 9/20 (金)	<p style="text-align: center;">検討準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 関係者ヒアリングの実施 <ul style="list-style-type: none"> 気象台、ライフライン、交通機関を対象に実施 (8/22~9/2) ➢ 想定水害シナリオの作成 <ul style="list-style-type: none"> 想定台風シナリオ、内水・外水の浸水リスク情報の作成 ➢ 行動項目リストの作成 <ul style="list-style-type: none"> 研修会ワーキング、ヒアリングより確認した項目 機関の防災マニュアル等から抽出した項目 	<p style="text-align: center;">機関ごとに、自らが解決すべき行動項目を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 防災対応の目標が重なる機関・部署ごとのグループに分かれて、台風・前線性降雨などの気象情報や自機関に関する浸水リスクを時系列で把握する。 ◆ 浸水リスク情報を把握した上で、被災想定シナリオに対する防災行動項目「何を」を抽出 (事前に作成した行動項目チェックリストを補足) し、TLレベルごとに整理する。 	<p>◆ 機関ごとのタイムラインレベルに応じた行動項目の整理</p>  <p>← 第1回検討会の成果イメージ : TLレベルに応じた行動項目を横軸(自機関・他機関)、縦軸(重要度・影響度)に沿って付箋で整理。</p>
4	第2回 検討会	令和元年 11/27 (水) 予定	<p style="text-align: center;">検討準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 第1回検討会成果(抽出した防災行動項目)を実現するために、各参加機関ごとに具体的な防災行動の抽出を行う。 	<p style="text-align: center;">防災行動項目「いつ」の把握、「何を」の階層化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 機関グループ*ごとに防災行動項目をブレイクダウンする ◆ タイムラインレベルごとに他機関と共有すべき行動を抽出し、機関グループ*ごとに発表する <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">*県、市町、報道 (各社統合)、ライフライン (電気・ガス統合)、交通 (各社統合)</p> <p style="text-align: center;">千代川水害タイムライン (素案)</p>	<p>◆ 千代川TLにおける各行動項目の階層と他機関の項目をチェック</p>  <p>← 第2回検討会の成果イメージ : 機関ごとに、想定災害シナリオに沿った行動項目と、他機関と共有すべき項目を整理。</p>
5	第3回 検討会	令和元年 12月 下旬予定	<p style="text-align: center;">検討準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 第2回検討会成果(他機関と共有すべき行動項目)を踏まえ、他機関をとの連携を意識しながら自機関が実施する防災行動を抽出する。 ➢ 防災行動項目に関する所要時間や体制などを確認する。 →事務局が全体行動項目リストに反映。 	<p style="text-align: center;">各防災行動項目を「いつ」「誰と」実施するかの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 機関グループ*ごとに行動主体、連携主体の確認、グループ内での役割分担の決定。 ◆ 行動の所要時間などの確認。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">*県、市町、報道 (各社統合)、ライフライン (電気・ガス統合)、交通 (各社統合)</p> <p style="text-align: center;">千代川水害タイムライン (案)</p>	<p>◆ 千代川TL (案) の完成</p>  <p style="text-align: center;">第3回検討会の成果イメージ(他地域におけるタイムラインの例)</p>
6	第4回 検討会	令和2年 2月予定	<p style="text-align: center;">検討準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 第3回検討会成果 (行動主体・連携主体の確認) を踏まえ、千代川水害タイムラインにおける課題、疑問点の確認を行う。 	<p style="text-align: center;">タイムライン (案) 机上演習による行動項目の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 行動項目を主体的に行う機関・支援を行う機関を再確認し、課題や疑問点の抽出を行う。 ◆ タイムラインの特徴の1つである「顔の見える関係」を実践し、一体感を高め、共通理解を確認する。 	<p>◆ 千代川TL (案) を用いた机上演習</p> <p>第4回検討会の成果イメージ→ : TLの読み合わせを通し、TLの特徴の1つである「顔の見える関係」を実践し、一体感を高め、共通理解を確認。(他地域における全体読み合わせのイメージ)</p> 
7	完成式	令和2年 3月予定	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 千代川水害タイムラインの運用を開始する。 		